

# 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成21年 9月 2日(水) 5校時  
学 級 二戸市立福岡中学校1年3組32名  
授業者 辻村 順子

## 1 単元名・教材名

### 五、真実を語る

主教材「未来をひらく微生物」大島泰郎 著

(補助教材1「江戸からのメッセージ」 杉浦日向子 著)

(補助教材2「本当に大切なものは」高月 紘 著)

## 2 単元の設定について

### (1) 生徒について

生徒の国語に関する学力として、今年度4月に行ったNRT検査の結果を見ると、本校1学年は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語事項」については全国正答率を若干上回っていたが、「読むこと」については全国正答率を若干下回っていた。中領域別集計の結果を見ると、特に、「要旨を読み取ること」「事実と感想の関係を押さえて読むこと」の二つの領域については、定着が低い傾向が見られた。また、「書くこと」において「書く材料を整理すること」の領域のみ定着が低い傾向が見られた。

これらの結果から、主に説明的文章における読むことや書くことの学習の定着について一層の工夫が必要であると考えた。

生徒たちは、これまで「ちょっと立ち止まって」「クジラたちの声」という二つの説明的文章を学習をとおして、「言葉の単位」についても学んできている。そこで、これらの説明的文章では、特に「段落」を意識しながら、文章の展開に即して内容をとらえる学習を積み重ねてきた。

また、説明的文章の読解に必要であり、「段落」を意識して読むことを定着させたいという考えから、第5単元の「学習の窓」でふれている「段落の役割に着目する」や第6単元にある「指示する語句と接続する語句」を先取りして学習してきた。

国語の授業における生徒の既習事項の定着についても、文学的文章よりも説明的文章の方が弱く、国語科における学習用語定着のための反復指導の必要性についても感じている。

本単元では、これまでの説明的文章で学んだ既習事項を生かして、文章の構成や表現の特徴をとらえ、それらについて自分の考えを持ちながら主体的に読もうとする力の育成を図っていききたい。

### (2) 単元について

生徒たちは、小学校第6学年における説明的文章の学習として、「文章を要約する」「筆者の考えに対する自分の考えをもつ」という内容を学んできている。本単元は、

中学校に入学してから、第2単元以降、3つ目の説明的文章になり、「読むこと」の説明的文章1教材と、「書くこと」の「調べたことを正確に伝えよう～レポートにまとめる～」、言語事項2つから成っている。

本単元の構成を組み立てるにあたり、新学習指導要領移行期における中学校第1学年であることから、次のような観点を重視しながら指導していくこととする。

<単元構成の観点>

- ・ 素材を変えても対応できる言語能力の育成を図る。
- ・ 書くために必要な情報を、目的をもって読ませる。(家庭学習との関連)
- ・ 思考力を高めるための言語活動の工夫をする。
- ・ 個人でとともに「集団で考え合い解決していく」活動を取り入れる

以上の観点をもって単元の構成を考えたとき、指導に不可欠であるのが、単元の指導計画に合わせて思考活動を導く「教材の開発」である。教科書の教材をすべて入れ替えるのではなく、提示の仕方を変えたり、文章の一部を変えたり、指導の順序を変えたり、補助教材を加えたりすることで、新しい指導要領に対応した指導が可能となり、素材を変えても対応できる言語能力の育成を図りたいと考えた。

また、第5単元の指導の構想を「レポート(報告文)を書くために必要な情報を得るための目的的に読むこと」とし、その活動を家庭学習との連携を通して繰り返し指導することとした。家庭学習の内容は、授業で行っている指導事項と直接関わる事柄である。そのために、単元の初めに、本単元の学習の流れを次のように生徒に説明した。

<本単元の主な学習の流れ>

- ① レポートの書き方を知ること
- ② 新聞記事やポスターや広告などから「情報集め」をすること
- ③ 説明的文章からも「情報」を得ること
- ④ 説明的文章を読むための「道具(知識)」とその使い方を理解すること  
(指示する語句と接続する語句、段落の役割、文末表現、構成・展開 等)
- ⑤ 説明的文章から「説明の仕方」(事実と意見の書き分け、構成の工夫)を学ぶこと
- ⑥ 読みから学んだことを生かして、レポートを書くこと

調査・研究の視点から行う内容の詳細な読みにとどまらず、説明的文章の構成や展開を、書かれ方・筆者の説明のしかたから学ぶ読みを大切にしたい。「正確にわかりやすく伝えること」をねらいとする報告文作成のために、一つの単元の学習の流れの中で生徒が学んだことを活かす、目的を意識した活動が行えると考える。

そして、生徒相互の学び合いによる「集団で考え合い解決していく」言語活動をとおして、必要な情報を集めるための方法を身に付けさせ、目的に応じて必要な情報を読み取らせる力を育成したい。

### (3) 教材について

主教材「未来をひらく微生物」は、微生物の環境改善への大きな可能性が述べられており、生徒たちに新しい視点をひらかせる内容となっている。また、説明的文章の指導という点においては、第2学年「モアイは語る～地球の未来～」、第3学年「生

き物として生きる」へとつながる教材であり、論理的思考力を養い、自分の意見を確立する学習として位置づけられている。

本教材では、「微生物と環境問題とのかかわり」を知り、新しい発見や驚きを味わうことができる。また、レポート作成を今後の学習に控え、そこにつなげていくことも視野に入れ、接続する語句や指示する語句の効果的な使い方やたとえの表現、叙述の特色に着目していくと、本教材からの学びはとても大きい。順序を示す語句や「たとえ」で、読み手に分かりやすく伝えたいという筆者の願いや工夫を様々な表現に見ることができる。

「江戸からのメッセージ」は読書教材であり、江戸の人々の心の豊かさや物を大切に生活に共感しやすい。江戸の人々の工夫と知恵に驚かされ、感動をおぼえる。今日からでもエコ生活の参考にできそうな教材である。

そこで、「未来をひらく微生物」、「江戸からのメッセージ」の二つの教材を並行読みさせながら、目的をもって文章を読み、書かれ方（筆者の書き方、説明の仕方）をとらえることで、様々な文章のなかにある情報を主体的に受け取る態度を育成したい。「調べる」力を高めるためには、情報の集め方とともに、いくつかの文章を比較・検討し、評価しながら読む活動から学ぶことが必要だと考える。一つの例からだけでなく、複数の教材文の並行読みから、「読み方」のスキルを鍛えることができると考える。

また、これらの学習活動から、目的をもって本や資料を読むこと、必要な文章を図書館等を活用して情報を選ぶことにつなげていきたい。

### 3 単元の指導目標

- (1) 内容への興味・関心を持たせ、本や文章などから目的に応じて必要な情報を得たりわかりやすく正確に伝えようとする姿勢を育てる。 <関心・意欲・態度>
- (2) レポート作成を通して、情報の分類や整理の仕方、事実と意見とを書き分けるなどのわかりやすい構成のしかたについて考えさせる。 <書くこと イ>
- (3) 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもたせる。 <読むこと エ>
- (4) 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取らせる。 <読むこと カ>
- (5) 主語や述語、指示語や接続語及びこれらと同じような働きをもつ語句などについて、理解を深めさせる。 <言語事項 エ>

#### 4 単元の評価規準

	国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
A 十分に満足できる	・段落や構成に着目して文章を読み、表現の特徴に対して自分の考えをもち、学んだことを生かして事実を正確に伝えるレポートを書こうとしている。	・課題解決に必要な情報を集め、伝えたい事実と自分の意見とを書き分けたり、説明的文章を読むことで学んだ構成や叙述を生かして工夫したりして、わかりやすくまとめることができる。	・レポート作成に生かすことをふまえ、段落の役割や導入・本文・まとめ、例示・説明などの働きについて読み分けて、文章構成や効果的な叙述に気づき、筆者の表現のしかたの巧みさや良さについて自分の考えを適切に表現することができる。	・「主語・述語」「修飾・被修飾」の関係、文節どうしの関係、指示する語句と接続する語句について理解し、学んだことを説明的文章の構成理解やレポートの作成に生かすことができる。
B おおむね満足できる	・段落や構成に着目して文章を読み、学んだことを生かしてレポートを書こうとしている。	・課題解決に必要な情報を集め、伝えたい事実と自分の意見とを書き分けて、構成を工夫し、レポート形式で筋道立てて書くことができる。	・レポート作成に生かすことをふまえ、段落の役割に着目し、導入・本文・まとめや、例示・説明などの働きについて読み分け、文章構成や効果的な叙述に気づき、自分の考えをもつことができる。	・「主語・述語」「修飾・被修飾」の関係、文節どうしの関係、指示する語句と接続する語句について理解することができる。
C 生徒への手だて 努力を要する	・段落や構成に着目して文章を読み、段落の役割や展開の工夫に気づかせ、学んだことを生かして、レポートが書けるよう、正しくわかりやすい短作文を書く練習を行う。	・調べたことを整理し、事実と意見とを分けて、レポート形式で書けるよう、文末の使い分けや箇条書きの方法、レポートの形式学習を徹底する。	・段落の役割に着目し、導入・本文・まとめや、例示・説明などの働きについてとらえられるよう、音読とスキル学習指導を工夫する。	・文と文節の定義を復習し、「主語・述語」「修飾・被修飾」の関係、文節どうしの関係、指示する語句と接続する語句について理解できるよう、短文作り等の個別指導を行う。

#### 5 単元の指導計画 (計14時間)

		次	時	学習目標	学習内容	家庭学習との関連
単元の流れの確認	学習の見通し	I	1	本単元の学習活動についての見通しを持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをレポートの形式に沿ってまとめる方法を学習する。</li> <li>事実と意見とを書き分ける学習</li> <li>調べたことを、カードに書いて記録する方法を学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実と意見とを書き分ける練習をする。</li> <li>新聞記事や文章からカードを作る練習をする。</li> </ul>
言葉のきまり	接続する語句と指示する語句	II	2・3	指示する語句と接続する語句の働きについて学習し、段落の役割と文章の構成について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示する語句や接続する及び同じような働きをする語句について理解する。</li> <li>段落の役割について理解する。</li> </ul>	

「未来をひらく微生物」	「江戸からのメッセージ」 「本当に必要なものは」	III	4・5 6・7 8 (本時)	<p>4・5 文章の内容について自分の考えをもつ。</p> <p>6・7 筆者の論の展開の仕方から学ぶことができる。</p> <p>8 文章の表現の効果や工夫について自分の考えをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸からのメッセージ」を読み、自分の感想をもつとともに、観点をもとに、構成や表現の特徴について理解する。</li> <li>・「未来をひらく微生物」を読み、自分の感想をもつ。</li> <li>・段落の役割を考えながら、構成をとらえる。</li> <li>・補助教材「本当に必要なものは」をもとに、「段落の役割」を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸からのメッセージ」情報カード作りをする。</li> <li>・「未来をひらく微生物」の音読をする。</li> <li>・情報カード作りをする。</li> <li>・「本当に必要なもの」音読、段落分けの推定をする。</li> <li>・新聞や本などから、関心のある記事を集めてくる。</li> </ul>
書く レポートを	まとめる レポートに	IV	9～ 11	調べたことを正確にわかりやすくまとめる方法を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートの形式や作成の方法を理解する。</li> <li>・調べたことをレポートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞や本、インターネットや辞書を用いて、調査活動を行う。</li> </ul>
言葉のきまり	漢字と意味 文の組み立て	V VI	1 <sup>2</sup> ・1 <sup>3</sup> 14	<p>1<sup>2</sup>・1<sup>3</sup> 文の組み立てについて理解を深める。</p> <p>14 辞典を活用して、語彙を増やすことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語・述語の関係</li> <li>・修飾・被修飾の関係</li> <li>・連文節</li> <li>・文の成分</li> <li>・並立・補助の関係</li> <li>・国語辞典、漢和辞典を活用して意味や用例などを調べる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の中の、主語・述語を指し示す。</li> <li>・調べた語句を使った短文作りをする。</li> </ul>

## 6 本時について

### (1) 目標

文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつことができる。

<読むこと エ>

### (2) 指導の構想

本時では、「素材を変えても対応できる言語能力」を、「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつ力」ととらえた。様々な形態の文章の構成や展開、表現の特徴を分析的にとらえ、その工夫や効果について、自分の考えを持たせていきたい。そこで、本時の学習課題を「筆者の表現のしかたから学んだことを発表しよう」とした。

本単元では、書くことを学習する「調べたことを正確に伝えよう～レポートにまとめる～」に意識した上で、読むことの主教材「未来をひらく微生物」を中心としながら、学習を進めるという計画を立てた。

生徒たちは既に補助となる読書教材「江戸からのメッセージ」と主教材「未来をひらく微生物」において、二つの読み方を行った。一つ目は、レポートを書くためという目的のもと、必要な内容面での情報を集めるための読みである。もう一つは、この文章の説明の手法から学ぼうとする読み方である。

本時では、まず初めに、段落の役割や三段落構成の既習事項や、説明的文章の読解に関する既習の学習内容を生かして、補助教材「本当に必要なものは」の段落分けを行う。そこで「未

来をひらく微生物」という作品が、説明的な文章の構成や展開の学習の上で、自分たちにとってどのような学びがあったのか、そこから学んだことは他の文章の読みでも活用できるかを確認していく。そして、段落の役割をとらえることや導入・本文・まとめの三段落構成をとらえることが、文章構成や展開を理解する上で大切になり、その読み方を理解するうえで大切になり、その読み方を「未来をひらく微生物」や「江戸からのメッセージ」から学んだことを実感させたい。

読み手を引きつけるための工夫を施した「導入部分」、数値や具体例を用いて説得力を強め、たとえや図を用いてわかりやすさをねらった「本文部分」、全体の構成のなかで筆者の願いや思いが込められている「まとめ部分」に着目させ、説明的文章の構成を考える上で、基本をとらえさせたい。

また、学習の振り返りとして、レポートに生かせる点を発見できたかを発表させたい。「自分が学んだことを、根拠をもって発表する」ことで、主体的に読み、学んだことを次の書く活動に生かす意欲へとつないでいきたいと考えている。

さらに、集団で考え合うよさを味わうとともに、次の目標を持って学習に臨む姿勢と習慣を定着させたい。

### (3) 本時の具体の評価規準

A：十分に満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への手だて
読み手を引きつける導入部分の工夫や、意見を裏付ける具体例の効果に着目し、文章構成や筆者の表現のしかたの巧みさや良さについて自分の考えを適切に表現できる。	読み手を引きつける導入部分の工夫や、意見を裏付ける具体例の効果について着目し、文章構成や筆者の表現の特徴に気づき、自分の考えをもつことができる。	読み手を引きつける導入部分の工夫や、意見を裏付ける具体例の効果に気づくよう、音読と書き込み指導を徹底する。

### (4) 本時の展開

段階	学習過程	学習活動	指導上の留意点・評価 (資料・教具等)	評価の視点 (方法)
導入 5分	1 前時の想起  (つかむ)	1 前時の想起と家庭学習の確認をする。	●家庭学習との関連 補助教材「本当に必要なものは」を音読させることにより、文章の構成の予想をもたせ、本時の段落構成や展開について読み取ろうとする学習活動に生かしたり、文章構成について自分の考えをもつ力の育成につなげたりする。  2 本時の課題と、次時の学習内容を読んで確認する。	
	2 学習課題の把握	2 本時の学習課題と次時の学習内容を確認する。		
筆者の表現のしかたから学んだことを、交流しよう。				
	3 補助教材を根拠を挙げて、段落に分ける  (見通す)	3 「未来をひらく微生物で学んだことを生かして補助教材②を段落に分ける。	3 段落の必要性和役割について確認する。 (○補助教材「本当に必要なものは」) ・段落＝書き手がその意図をできるだけ明確に伝えようとして作る。内容ごとのまとまりがないと筆者の意図がわかりづらい。 ・段落の5つの役割＝問題提起する・例を挙げて説明する・事実を説明する ・意見を述べる・結論を述べる ・三段構成＝導入・本文・まとめ	

<p>〈考える〉</p> <p>(1) グループでどのように分けたのかを説明し合う。</p> <p>(2) 全体で段落分けするときの着眼点を確認する。</p> <p>〈まとめる〉</p> <p>4 二つの文章構成を比較し、検討する。</p> <p>〈交流する〉</p> <p>5 根拠をもって、二つの文章のよさを交流する。</p>	<p>(1) グループでどのように分けたのかを説明し合う。</p> <p>(2) 全体で段落分けするときの着眼点を確認する。</p> <p>4 「江戸からのメッセージ」「未来をひらく微生物」の文章を三段構成をもとに比較する。</p> <p>5 「江戸からのメッセージ」と「未来をひらく微生物」とを比べ、自分の学びを確かめる。</p>	<p>3 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような着眼点をもとに段落分けしているか、途中経過を全体に知らせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●段落を分けさせるためにおさえさせたい根拠（着眼点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「導入」、「本文」、「まとめ」を読み分ける。</li> <li>「事実」と「意見」を読み分ける。</li> <li>接続する語句や順序を示す語句に注目する。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>7つの段落に分けるための根拠を説明するための準備を記入しながら話し合いをさせる</li> </ul> <p>3 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>順序を示す言葉や接続する語句、三段構成のそれぞれのまとまりの特徴（導入の役割、情報源の多い本文、文末表現の変わるまとめ部分）、段落の役割などを考え、その着眼点を内容やキーワードとからめながら、段落分けをしているか確認する。</li> </ul> <p>4 「未来をひらく微生物」で学んだ説明的文章の読み方や書き方を比較表に記入させる。記入できない生徒にはどのように書けばよいかを机間巡視しながら支援する。（○比較シート）</p> <p>5 内容面でのおもしろさ、情報源としての有効性、説明的文章の学習としてのよさについて、発表させる。（○比較シート）</p> <p>【導入について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み手を惹きつける「導入の工夫」についてとらえさせる。それぞれの書かれ方の工夫とその中の共通点を指摘させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*問題提起*親しみをもたせる</li> <li>*考える必要性を訴える</li> <li>*数値を提示して興味・関心をひく</li> <li>*読み手がわかりづらい語句を出すときには、最初に説明をつける</li> </ul> </li> <li>どの教材のどの部分でそう思えるのか発表させる。</li> </ul> <p>【本文について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「意見」を裏付ける「具体例」の効果についてとらえさせる。レポートの「情報」が最も多く得られる「本分部分の書かれ方」について考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>*具体例をわかりやすく提示する</li> <li>*読む人が興味を惹く具体例を提示する</li> <li>*数値を提示して説得力を出す</li> <li>*意見を支えるふさわしい内容の具体例の提示をする</li> <li>*順序を示す語句を用いる</li> <li>*図や表、グラフを用いて説明する</li> <li>*読み手にわかりやすい「たとえ」を用いる</li> </ul> </li> </ul>	<p>◎既習事項を生かして、分けた根拠を説明できたか 〈読むことイ：発言〉</p> <p>◎それぞれの教材文から表現の工夫や説明のしかたのよさを学んでいるか 〈読むことエ：発言、シート記述〉</p>
---	--	---	---

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそれほど多くの具体例や数値を示すのかについて考えさせ、具体例によって自分の考えに引き込みたいという筆者の意図をとらえさせる。</li> </ul> <p>【まとめについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとめ」としての終末部分の工夫をとらえさせる。</li> <li>*意見が明確でわかりやすい</li> <li>*自らが研究した結果、得た考えを読み手に伝えようとする筆者の思いが感じられる</li> <li>*人や未来の社会への強い願いが伝わる</li> <li>*地球が抱える問題について、自分の立場から真剣に考えようとする筆者の姿勢が読みとれる。</li> </ul>	
終末 9分	<p>〈振り返る〉</p> <p>6 本時を振り返り、学んだことをまとめ、交流する。</p>	<p>6 学習の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート作りなどのようなところを生かしたいかを発表する。</li> </ul>	<p>○学習シートに記入する</p> <p>6 本などの文章から調べて報告文を書く場合に、大切なことを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*正確に伝えること</li> <li>*わかりやすく伝えること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教材文のどのような点について生かしたいかを発表し、交流させる。</li> </ul>	<p>◎教材文から目的に応じて主体的に読み取り、言語活動に生かそうとしているか 〈読むこと カ：発言、シート記述〉</p>
	<p>7 次時の予告をする</p>		<p>7 レポート作成の計画を立て、書くための情報の整理をさせる。</p>	

目的をもって、複数の文章を比較しながら読む活動をとおして、筆者の表現の工夫や効果について自分の考えをもつことができる